

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	都市地域計画	
科目基礎情報							
科目番号		0063		科目区分	専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		環境都市工学科		対象学年	4		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		【教科書】饗庭伸・鈴木伸治 編著「初めて学ぶ都市計画(第二版)」(市ヶ谷出版)【参考書】(1)都市計画教育研究会 編「都市計画教科書」(彰国社)、(2)加藤晃・竹内伝史 編著「新・都市計画概論」(共立出版)、(3)香坂文夫 著「よくわかるまちづくり読本-知っておきたい基礎知識88-」(技報堂出版)、(4)高木任之 著「イラストレーション都市計画法」(学芸出版社)、(5)高木任之 著「都市計画法を読みこなすコツ」(学芸出版社)					
担当教員		伊勢 昇					
到達目標							
(1)国土・地域・都市の各計画の歴史を理解し、今後の土地利用・交通・防災の各計画を立案する方法について説明できる。 (2)交通の特性を理解し、道路設計に必要な基準について説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
国土・地域・都市の各計画の歴史を理解し、今後の土地利用・交通・防災の各計画を立案する方法について説明できる。		国土・地域・都市の各計画の歴史を十分に理解するとともに、今後の土地利用・交通・防災の各計画を立案する方法について十分な説明ができる。		国土・地域・都市の各計画の歴史をおおよそ理解し、今後の土地利用・交通・防災の各計画を立案する方法について簡単な説明ができる。		国土・地域・都市の各計画の歴史を理解しておらず、今後の土地利用・交通・防災の各計画を立案する方法について説明ができない。	
交通の特性を理解し、道路設計に必要な基準について説明できる。		交通の特性を十分に理解するとともに、道路設計に必要な基準について十分な説明ができる。		交通の特性をおおよそ理解し、道路設計に必要な基準について簡単な説明できる。		交通の特性を理解しておらず、道路設計に必要な基準について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE C-1							
教育方法等							
概要		現代社会における都市および都市計画が果たしている役割、都市の原理、近代都市計画の形成、都市計画の基本概念、わが国都市計画の発展と展望など都市計画をめぐる総論を学習する。					
授業の進め方・方法		講義を中心に授業を進める。適宜、自由課題を指定する。 到達度確認テスト(100%)で評価する。					
注意点		■受講者へのコメント 以下に示す事前学習と事後学習を必ず遂行することによって各講義の理解度を常に自己評価し、不十分な場合には質問するなど積極的な学習姿勢が求められる。 【事前学習】（授業を受ける前に取り組まなければならない事項） ・ 次回の授業範囲を教科書や参考書等(シラバス参照)を用いて予習しておくこと。 ・ 必要に応じて、シラバスに記載している教科書や参考書以外のものも活用して予習しておくこと。 【事後学習】（次の授業までに取り組まなければならない事項） ・ 授業で習った内容について教科書や参考書等(シラバス参照)を用いて復習すること。 ・ 必要に応じて、シラバスに記載している教科書や参考書以外のものも活用して復習すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	計画の体制及び国土・地域・都市の考え方		計画の体制及び国土・地域・都市の考え方について説明できる。		
		2週	日本の国土・地域・都市計画の関連法規		日本の国土・地域・都市計画の関連法規について説明できる。		
		3週	地域・都市計画の手続き		地域・都市計画の手続きについて説明できる。		
		4週	土地利用計画		土地利用計画について説明できる。		
		5週	都市整備手法		都市整備手法について説明できる。		
		6週	交通と交通施設の計画(1)		交通の定義、交通流調査について説明できる。		
		7週	交通と交通施設の計画(2)		交通需要予測(4段階推定)について説明できる。		
		8週	交通と交通施設の計画(3)		交通流、交通量の特性、交通容量について説明できる。		
	2ndQ	9週	交通と交通施設の計画(4)		道路構造令(性能指標など)について説明できる。		
		10週	交通と交通施設の計画(5)		費用便益分析について説明できる。		
		11週	公園・緑地の計画及び景観整備		公園・緑地の計画及び景観整備について説明できる。		
		12週	福祉のまちづくり		福祉のまちづくりについて説明できる。		
		13週	都市と防災		都市と防災について説明できる。		
		14週	都市・環境都市の計画の変遷と最近の動向		都市・環境都市の計画の変遷と最近の動向について説明できる。		
		15週	到達度確認テスト		第1～14週の項目の問題を解くことができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。		4	前1,前2
				日本、世界における古代、中世および現代の都市計画の思想および理念と実際について、説明できる。		4	前14
				都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。		4	前2
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。		4	前4

			総合計画とマスタープランについて、説明できる。	4	前3
			都市計画区域の区域区分と用途地域について、説明できる。	4	前4
			交通流調査(交通量調査、速度調査)、交通流動調査(パーソントリップ調査、自動車OD調査)について、説明できる。	4	前6
			交通需要予測(4段階推定)について、説明できる。	4	前7
			緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4	前11
			風景、景観と景観要素について、説明できる。	4	前11
			都市の防災構造化を説明できる。	4	前13
			土地区画整理事業を説明できる。	4	前5
			市街地開発・再開発事業を説明できる。	4	前5
			交通流、交通量の特性、交通容量について、説明できる。	4	前8
			性能指標に関する道路構造令の概要を説明できる。	4	前9
			計画の意義と計画学の考え方を説明できる。	4	前1
			二項分布、ポアソン分布、正規分布(和・差の分布)、ガンベル分布、同時確率密度関数を説明できる。	4	
			重回帰分析を説明できる。	4	
			線形計画法(図解法、シンプレックス法)を説明できる。	4	
			費用便益分析について考え方を説明でき、これに関する計算ができる。	4	前10
			評価割合		
	到達度確認テスト	合計			
総合評価割合	100	100			
基礎的能力	60	60			
専門的能力	40	40			